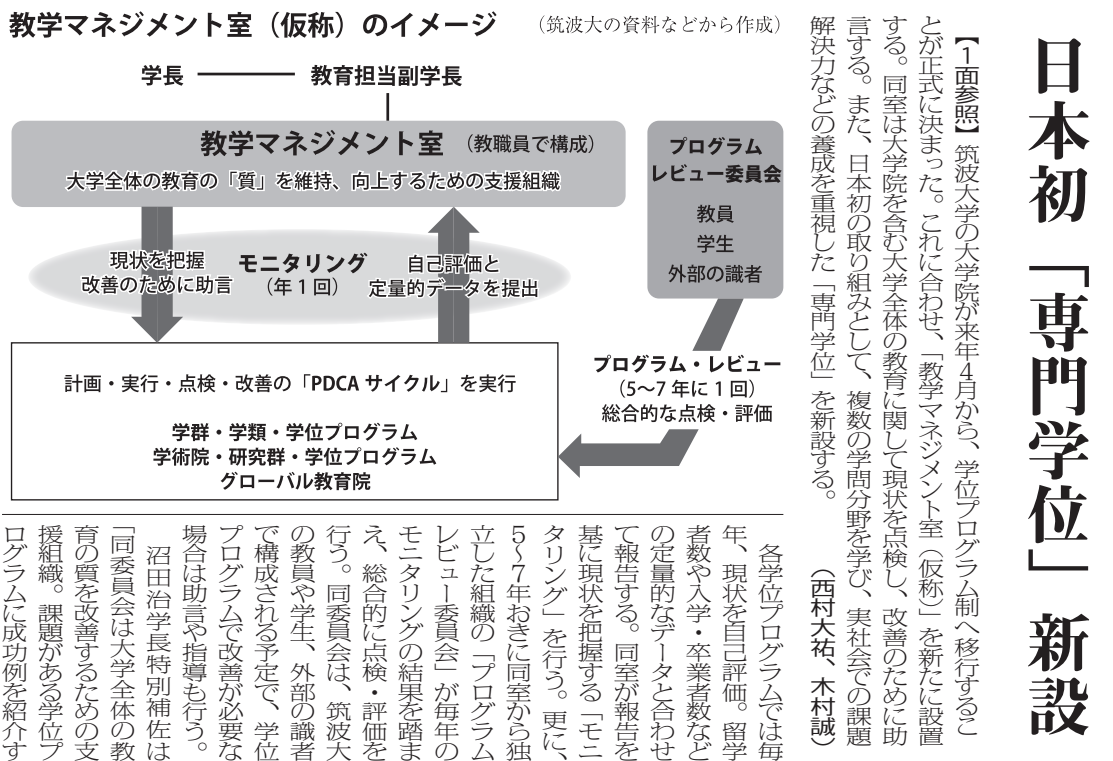
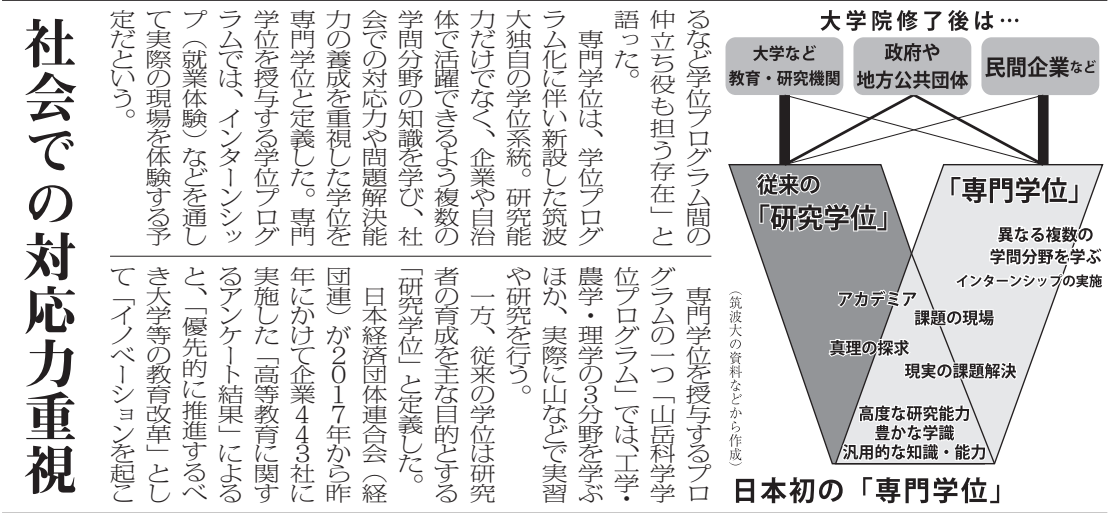


各教育組織を点検、助言を実施

教育の質 チェック機関を設置



日本初「専門学位」新設



社会での対応力重視

理系学類分かれる明暗

一部学類では研究センターから派遣

「教員数減少を考慮する」の第2回は、理系3学類の現状取材した。系とは別に研究センターからの教員派遣を受け、減少に歯止めをかけた学類がある。一方、そうした対応ができずに教員減少が続く、一部の分野で専門教員がいなくなった学類もあった。全体的には文系より影響が少ないとみられるが、「教育レベルを維持するには文理いずれも重要だ」と話す理系教員もいた。

（國井俊介）社会学類2年、西村大祐、木村誠

教員数は維持

物理学類の教員数は、▽16年1人減▽17年増減なし▽18年2人減—と近年はほぼ横ばいだ。物理学類長の重田育昭教授（計算科学）は数理物質系に加え、スー

② 教員数減少を
考える

く、逆風が吹いていると思う。国の教育レベルを維持するには、文理どちらも重要だと考える」と強調した。

約20年で4割減

物理学類の教員は現在34人。00年をピークに4割弱減少した。

定年退職した教員の補充が難しくなっている上に、数学専門の教員が所属する研究センターも存在しないため、教員の派遣を受けることができないという。

その影響で、一部の分野

数学教育に危機感

40人の教員が所属する。重田教授は「センターのおかげで学類の教員数が維持できている」と話す。

文系の学類などに比べて影響が少ないことについて、重田教授は「文系は社会への貢献が分かりにく

ネット出願に本格移行

募集要項はウェブのみ配布

筑波大学は今年11月に実施する来年度入試からインターネット出願に本格移行する。これまでは郵送で募集要項を取り寄せる必要があったが、来年度入試からは不要となる。入試課によると、今後は冊子での募集要項の配布は取りやめ、ウェブ経由に一本化する。

（加藤優花）国際総合学類2年、西村大祐

筑波大は16年度から私費外国人留学生入試などでネット出願を導入していたが、前期・後期日程入試とのウェブに公開された募集要項を出願者が確認し、続いて「ネット出願サイト」に氏名や住所など出願に必要な情報を登録する。これまで受験料の支払いは金融機関窓口とコンビニエンスストアのみで可能だったが、ネット出願ではクレジットカードやネットバンキングでの支払いなどにも対応する。

支払い後にウェブから志願票などを印刷し、調査書や推薦書などの出願に必要な書類とともに郵送する。

入試課によると、学群編入学試験では従来の出願を継続するが、ネット出願化を検討中だという。

推薦入試も来年度入試から導入する。

ネット出願では、筑波大のウェブに公開された募集要項を出願者が確認し、続いて「ネット出願サイト」に氏名や住所など出願に必要な情報を登録する。これまで受験料の支払いは金融機関窓口とコンビニエンスストアのみで可能だったが、ネット出願ではクレジットカードやネットバンキングでの支払いなどにも対応する。

支払い後にウェブから志願票などを印刷し、調査書や推薦書などの出願に必要な書類とともに郵送する。

社会実験を実施へ

「カシマサッカースタジアム周辺渋滞対策協議会」が8月5日に設立され、会長に大澤義明教授（シス情報）が就任した。同スタジアム（茨城県鹿嶋市）が2020年東京五輪のサッカー試合会場になることを踏まえ、同スタジアムでの試合開催日に発生する渋滞を緩和するため、バス専用レーンを設けるなど渋滞緩和の社会実験を行う。

協議会には県や筑波大学、県警、鹿島アントラーズ、国土交通省などの関係者12人が構成。同日の第1回協議会では、試合開催日の渋滞状況が報告された。

昨年11月に行われたAFCチャンピオンズリーグ決勝の試合当日は、スタジアムから東関東自動車道の潮来インターチェンジ（茨城県潮来市）間約8・4キロの通行に通常の4倍の70分かかったという。

スタジアムから東京駅に向かう高速バスの到着が渋滞で遅れ、利用客が東京駅発の終電に間に合わなかったことも報告された。

実施予定の社会実験ではバス専用レーンやバス優先区間を設け、一般車両を渋滞の少ないルートに誘導することなどが検討された。本格運用方針の決定に向け、来年1月下旬と5～6月中に1回ずつ実施し、その効果を検証する。

大澤教授は「県内で道路を使ったバス専用レーンの実証実験は初。協議会でさまざまな機関の意見を集約し、成功させたい」と話している。

（木村誠）

山田幸雄教授死去

体育センター長など歴任

山田教授

育センター長、日本スポーツ運動学会理事）7月20日、病氣療養中に死去。通夜と告別式は7月24、25日に行われた。筑波大学大学院体育研究科修了。博士（学術）。06年より筑波大教授。専門はスポーツコーチング学。元筑波大アスレチックデパートメントアスレチックディレクターなど。

山田幸雄教授（体育系）63歳（やまだ・ゆきお）体育

広告掲載欄

（紙面のみでの掲載となります）

広告のお問い合わせは

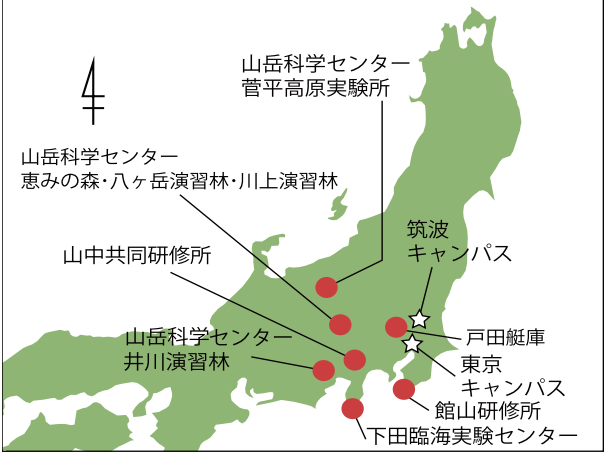
電話 029 - 853 - 6699

Eメール shinbun@un.tsukuba.ac.jp

（筑波大学新聞へのご意見・お問い合わせも上記までお願いいたします）

つくば市外の筑波大学

全国の筑波大学関連施設 (一部)



古里感あるおもてなし

管理棟が宿泊施設を兼ねており、8人部屋の洋室が8室、4人部屋の洋室と和室がそれぞれ1室ずつの計10室ある。客室や浴室は年季を感じさせるが、清掃が行き届いていた。管理する吉井辰仁さんは「田舎の親戚の家をイメージして運営している。家族



宿泊施設を兼ねた管理棟(8月15日、山梨県山中湖村で)＝中村瑞歩撮影

のようなおもてなしを感じてほしい」と話す。山中湖周辺の観光スポットも魅力的だ。近くの日帰り温泉施設「山中湖温泉」から徒歩10分、紅富士の湯からは雄大な富士山が望める。参道に石灯籠が並び「海雲山寿徳寺」は、戦国大名の武田信玄が祈願所に定め

てほしい」と語る。◆山岳科学センター 菅平高原 原実験所 ▼予約方法 公式ウェブサイトで利用申込書をダウンロード、メールまたはファックスで実験所事務室に送信。

館山研修所

館山研修所は改修後の2017年4月、山中共同研究所と同様にR、pro jectに管理・運営が委

台風になげず営業再開

9月の台風15号で、千葉県内は最大で約64万戸が停電するなど大きな被害を受けた。ナミカゼ館山も被害を免れず、停電が解消したのは4日後の9月13日になってからだった。

幸い、台風が襲来した日の夜は宿泊客がいなかった。建物の被害も、屋根に設置していた太陽光パネルの損傷などにと



「ナミカゼ館山」の玄関(8月16日、千葉県館山市で)＝竹添そら撮影

より安全に配慮した運営を行っていきたい」と話している。千葉県内では9月末時点で、復旧作業の終わりが見えない状況にあるが、研修所を再び多くの人が訪れるようになることを願う。

館山研修所

▼予約方法 電話での問い合わせ(03・663622163)、もしくは公式ウェブサイト、LINEで予約できる。

館山研修所は改修後の2017年4月、山中共同研究所と同様にR、pro jectに管理・運営が委

山岳科学センター 菅平高原実験所 つくばから交通機関を乗り継いで約5時間。最寄りのバス停になり着いた後、徒歩15分ほど山道を歩くと、木々に覆われた正門が迎えてくれた。

自然豊かな「日本のダボス」

実験所では35畝(東京ドーム7.5個分)の広大な敷地と豊かな自然、冬季の低温環境を生かした生物多様性研究などが日々行われている。また、昆虫や微生物の細かな構造を観察できる電子顕微鏡など最新の設備もそろっている。

敷地内には低額で利用できる宿泊棟があり、レタスなど地元産の高原野菜を使った料理が提供される。実習中の利用者は「実験所の魅力の一つ」と話している。

実験所を象徴する存在が1965年に宿舍として建てられた「大明神寮」(木造平屋建て)だ。南側の出窓を二重窓にし、採光と断熱を図るなど寒冷な気候に

し、海洋に関する優れた研究・教育が行われている。実験センターには4隻の船がある。中でも研究調査船「つくばⅡ」(19ト、新設備が搭載されている。

また、ホヤを飼育するものでは日本最大の水槽がある。昨年8月には、センタの堀江健生助教(生環境系)らがホヤをモデルに、進化の過程で人間と脊椎動物の頭がどのように生じたかを迫る研究成果を上げたに迫る研究成果を上げたに迫る研究成果を上げたに迫る

また、ホヤを飼育するものでは日本最大の水槽がある。昨年8月には、センタの堀江健生助教(生環境系)らがホヤをモデルに、進化の過程で人間と脊椎動物の頭がどのように生じたかを迫る研究成果を上げたに迫る研究成果を上げたに迫る研究成果を上げたに迫る

また、ホヤを飼育するものでは日本最大の水槽がある。昨年8月には、センタの堀江健生助教(生環境系)らがホヤをモデルに、進化の過程で人間と脊椎動物の頭がどのように生じたかを迫る研究成果を上げたに迫る研究成果を上げたに迫る研究成果を上げたに迫る

筑波大学はつくば市に全国でも有数の広大なキャンパスを持つ。これに加え、実験所や研修施設など多彩な関連施設が各地にあり、地域の特性を生かした研究や学生・教職員の研修、レクリエーションの舞台となっている。今回はこのうち4カ所を、本紙記者が実際に訪ねるなど取材した。いずれも、つくばとはまた別の魅力に満ちていた。(中村瑞歩、日本語・日本文化学類、国井俊介、牧田宗大、森賀遼太、社会学類、竹添そら、知識情報・図書館学類。利用料金は9月27日現在)



国登録指定文化財の大明神寮(8月19日、長野県上田市で)＝国井俊介撮影

敷地内には低額で利用できる宿泊棟があり、レタスなど地元産の高原野菜を使った料理が提供される。実習中の利用者は「実験所の魅力の一つ」と話している。

実験所を象徴する存在が1965年に宿舍として建てられた「大明神寮」(木造平屋建て)だ。南側の出窓を二重窓にし、採光と断熱を図るなど寒冷な気候に



最新設備を備える研究調査船「つくばⅡ」＝下田臨海実験センター提供

また、ホヤを飼育するものでは日本最大の水槽がある。昨年8月には、センタの堀江健生助教(生環境系)らがホヤをモデルに、進化の過程で人間と脊椎動物の頭がどのように生じたかを迫る研究成果を上げたに迫る研究成果を上げたに迫る研究成果を上げたに迫る

また、ホヤを飼育するものでは日本最大の水槽がある。昨年8月には、センタの堀江健生助教(生環境系)らがホヤをモデルに、進化の過程で人間と脊椎動物の頭がどのように生じたかを迫る研究成果を上げたに迫る研究成果を上げたに迫る研究成果を上げたに迫る

記者の声



秋田耕平

改め、情報を積極的に公表し、透明性を高めるべきだ。経団連の就活ルール廃止は、2021年春入社の学生から。

就職活動

不透明な企業の採用姿勢 インターンとの関係明確に

大学生の就職活動の不透明感が増している。日本経済団体連合会(経団連・東京都千代田区)が昨年10月、企業の採用活動の開始日などを定めた「採用選考に関する指針」いわゆる「就活ルール」の廃止を表明したことを背景に、企業の採用活動が早期化した。インターンシップ(就業体験)の参加者を対象とした「青田買い」ともとれる優遇採用も横行している。問題は、これらが学生に明示されないまま行われていることだ。企業は不透明な現在の採用姿勢を

これまで、採用活動に関する説明会を3月1日から、面接開始を6月1日からと規定し、インターンは採用活動とは「一切関係のないこと」を明確に行うことを求めている。政府は、経団連に代わり新ルールを定める方針だが、前のルールを踏襲するとみられる。

のスキルを見極めるために実施していると考えた。さらに、インターンに参加した学生のうち67.8%がインターンと採用活動に何らかの関係があったと答えている。私の知人にも、インターンの後に参加者を対象とした採用枠で内定を得た人がいる。その知る。

企業や政府は「インターンと採用活動は別」という建前はやめるべきだ。企業が「インターンは採用活動の一環」だと宣言すれば、不透明な就活状況が少しは変わるかもしれない。学生もインターンが採用活動と関係があることを感づいてい。インターンにより、企業の風土や環境を知り、評価する機会が得られる点は、学生にとっての利点にもなる。

ただ、現状は「就活戦線、異状あり」だ。(元筑波大学新聞編集長・社会学類4年)

筑波時評

7月の参議院選挙では、れいわ新選組の船後靖彦議員と木村英子議員、国民民主党の横沢高徳議員の3人の車いす利用の議員が当選した。過去の車いす利用の議員の例では、1997年に八代英太(前島英三郎)議員が参議院議員として当選し、その後も参議院と衆議院とで議員活動を継続して行ったケースはある。しかし、今回、船後議員は筋萎縮性側索硬化症(ALS)

レまでの車いす利用の議員とは大きく異なっている。これに對

して、国会の対応としては、中央玄関にスロープを設置し、議場内の座席の改造、本会議場に介助者と一緒に入場できるような配慮、押しボタンや代筆活動、パソコンの持ち込みの許可など、ハード面中心に対応がなされた点は重要である。

保障審議会・障害者部会の委員であった時に障害者総合支援法の改正(2016年改正)の議論においても、障害者の通勤に、重度訪問介護の利用を認めない(個人の経済活動に公費の支出は含まれない)こと確認されており、通勤の際

の自由、移動を容易にすることが権利として明示されており、通勤に関して公的なサービスの利用を制限していること自体が、障害の有無にかかわらず平等な社会参加を基盤にしている障害者権利条約の理念に抵触していると思われる。その意味でも、今回、重度訪問介護を利用して仕事として議員活動を行うことは、障害者の社会参加を進める点で大きな意味がある。

障害者の置かれている状況や制度の現実の課題に関しては、障害のある当事者でないといけないことが多い。その点で、制度の課題に直面して、その影響をもっとも受けやすい重度障害のある当事者が国会議員になり、立法機関である国会で活動をしていくことにより、障害福祉にかかわる制度を障害当事者のニーズを反映させながら根本的に変えていく大きな力となることが期待できる。

原則外れた費用を抛出 支援制度自体に問題提起

今回の件で特に重要な問題は、この2人の議員は障害者総合支援法のサービスである重度訪問介護の利用者であり、厚生労働省の公示によれば、通勤・営業活動などの個人の経済活動による外出は重度訪問介護サービス利用の対象外と定めていることである。この点に関しては、筆者が以前、厚生労働省の社会

保障審議会・障害者部会の委員であった時に障害者総合支援法の改正(2016年改正)の議論においても、障害者の通勤に、重度訪問介護の利用を認めない(個人の経済活動に公費の支出は含まれない)こと確認されており、通勤の際

の自由、移動を容易にすることが権利として明示されており、通勤に関して公的なサービスの利用を制限していること自体が、障害の有無にかかわらず平等な社会参加を基盤にしている障害者権利条約の理念に抵触していると思われる。その意味でも、今回、重度訪問介護を利用して仕事として議員活動を行うことは、障害者の社会参加を進める点で大きな意味がある。

障害者の置かれている状況や制度の現実の課題に関しては、障害のある当事者でないといけないことが多い。その点で、制度の課題に直面して、その影響をもっとも受けやすい重度障害のある当事者が国会議員になり、立法機関である国会で活動をしていくことにより、障害福祉にかかわる制度を障害当事者のニーズを反映させながら根本的に変えていく大きな力となることが期待できる。

小澤 温 教授 (社会福祉学)



人間系・教授。東京大学大学院医学系研究科保健学専攻修士。博士(保健学)。大阪市立大学生理学部助教授、東洋大学社会学部教授などを経て、2011年より現職。

反射鏡

消費税・軽減税率どう思う?

10月1日に消費税率は8%から10%に引き上げられた。また、飲食料品などの生活必需品の税率を8%に据え置く「軽減税率制度」も新たに導入された。筑波大学生は、消費税増税や軽減税率をどう思うのか。第一エリアや中央図書館前で、増税前の7、8月に聞いた。(西村大祐Ⅱ人文学類2年、國井俊介、後藤佳伶Ⅱ社会学類2年、大和祐菜Ⅱ障害科学類1年)

【増税に】賛成
【化学Ⅰ年・女性】増税してもよい。
【人文Ⅰ年・男性】増税は仕方がないと思う。軽減税率は、必需品に対しては必要だが、軽減税率の導入は消費者にとっての負担が増える。軽減税率の導入は、消費者にとっての負担が増える。軽減税率の導入は、消費者にとっての負担が増える。

【増税に】賛成
【化学Ⅰ年・女性】増税してもよい。
【人文Ⅰ年・男性】増税は仕方がないと思う。軽減税率は、必需品に対しては必要だが、軽減税率の導入は消費者にとっての負担が増える。軽減税率の導入は、消費者にとっての負担が増える。軽減税率の導入は、消費者にとっての負担が増える。

【増税に】賛成
【化学Ⅰ年・女性】増税してもよい。
【人文Ⅰ年・男性】増税は仕方がないと思う。軽減税率は、必需品に対しては必要だが、軽減税率の導入は消費者にとっての負担が増える。軽減税率の導入は、消費者にとっての負担が増える。軽減税率の導入は、消費者にとっての負担が増える。

新しく欲しい祝日

2016年に「山の日」(8月11日)が新しい祝日として制定され、3年が経った。日本では元日に始まり11月23日の勤労感謝の日まで、年に計16日の祝日がある。筑波大学生が新しく制定してほしい祝日は何だろうか。中央図書館前、春日エリアなどで聞いた。(池田花於里Ⅱ比較文化学類3年、田所涼Ⅱ教育学類2年、竹添そらⅡ知覚情報・図書館学類3年)

【知識3年・女性】増目にも休みがほしい。同窓の日(成人の日の翌日)。(成人の日)前後の連休は、成人式や親戚へのあいさつ、同窓会など、とても忙しいので、みんながサイクリングする日がほしい。暑すぎず寒すぎない5月がよいと思う。

【知識3年・女性】増目にも休みがほしい。同窓の日(成人の日の翌日)。(成人の日)前後の連休は、成人式や親戚へのあいさつ、同窓会など、とても忙しいので、みんながサイクリングする日がほしい。暑すぎず寒すぎない5月がよいと思う。



イラスト=長手彩夏(地球進化学専攻2年)

【知識3年・女性】増目にも休みがほしい。同窓の日(成人の日の翌日)。(成人の日)前後の連休は、成人式や親戚へのあいさつ、同窓会など、とても忙しいので、みんながサイクリングする日がほしい。暑すぎず寒すぎない5月がよいと思う。

【知識3年・女性】増目にも休みがほしい。同窓の日(成人の日の翌日)。(成人の日)前後の連休は、成人式や親戚へのあいさつ、同窓会など、とても忙しいので、みんながサイクリングする日がほしい。暑すぎず寒すぎない5月がよいと思う。

【知識3年・女性】増目にも休みがほしい。同窓の日(成人の日の翌日)。(成人の日)前後の連休は、成人式や親戚へのあいさつ、同窓会など、とても忙しいので、みんながサイクリングする日がほしい。暑すぎず寒すぎない5月がよいと思う。

【知識3年・女性】増目にも休みがほしい。同窓の日(成人の日の翌日)。(成人の日)前後の連休は、成人式や親戚へのあいさつ、同窓会など、とても忙しいので、みんながサイクリングする日がほしい。暑すぎず寒すぎない5月がよいと思う。

若手芸術家と市民が交流 全国12都市で開催

若い芸術家の活躍の場と市民が芸術に触れる機会作りが目的のイベント「JAPAN LIVE ART MEETING 2019」が8月3日、LALAガーデンつくば（つくば市小野崎）で開かれた。「アートで会場を盛り上げた。」



当日は学生が来場者の似顔絵を描く企画も行われた（8月3日、LALA ガーデンつくばで）

ステージではT・A・C・Tの「盆LIVE」が登場し、J・P・O・Pなどに合わせ、年齢を問わず多くの人が輪になり盆踊りを楽しんだ。また、会場内には縦180、横90センチの白壁が7枚設置され、アーティストらはキャンバスを立てかけたり、紙を貼るなどして企画開催中の6時間でおおの作品を仕上げるライブペイントを披露した。トリノエムさん（芸専3年）は、自身が好きな「オウギバト」という鳥が、キャラクタータッチの女性に擬人化した姿をアクリル絵の具で描いた。制作終了後に「音楽が流れる中、大きな作品を作る環境は新鮮で、楽しかった」と語った。

茨城県での企画を主催し、自身もライブペイントを行った Rozee Crystal

図画団展

力作 52 作品集う

総合交流会館のラウンジで7月17～20日、第11回図画団展が開かれた。筑波大

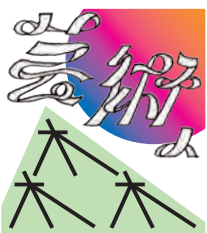


安藤さんが制作した「湿り道」（7月20日、総合交流会館で）

学部の芸術サークル「図画団」の部員26人が制作した計52作品が展示され、約120人が訪れた。同展ではあらかじめ設定されたテーマに基づき作品と、文字をデザインした作品、部員が自由に制作した個人作品が展示された。今回設定されたテーマは「食・物」「生物」「三題噺」の3種類。「三題噺」は、制作者それぞれが自由に選んだ3つのキーワードをもとに描いたもの。朝太陽細胞のキーワードをもとに

朝顔を描いた「Morning Glory」など計6点が展示された。部員自身がテーマを決め制作した個人作品は32点。その中で特に記者の目を引いたのは、安藤日出海さん（工芸専4年）が自由制作した「湿り道」だった。場所は日光東照宮の参道で、雨上がりの草木や地面を油彩で描いた作品だ。湿潤的で幻想的な雰囲気表現されていた。

代表の宮川紫苑さん（心理専2年）は「多くの人に自勝手にサテライト・アルスエレクトロニカ 独創的な作品を展示 筑波大学生が制作したメディアアート作品の展覧会「勝手にサテライト・アルスエレクトロニカ」が7月16～19日、学内のアートギャラリー10で開かれ、延べ75人が観覧に訪れた。同展は、芸術と先端技術などを融合した文化の祭典で、毎年9月にオーストリア・リンツ市で開催される「アルスエレクトロニカ」を模したものだ。展示の一つ「Escaping Chair」は、立方体型をしたイスの側面に物体の接近を感知するセンサーが取り付けられており、人が近づくと作品が動き出す。分たちの作品を見てもうることができた。色の使い方に多様性を感じてもらえたのではないかと話した。（加藤優花 写真も）



劇団筑波小劇場

筑波大学の演劇サークル「劇団筑波小劇場」の今年度新人公演「双子殺人事件」が、7月27、28日の両日、筑波大5C棟で上演された。メリハリの効いたストーリー展開と演出の妙で、公演は、良質なユーモアミステリーとなっていた。

「みなさんには兄弟がいらないです。うか。劇は刑事ドラマ「古畑三郎」の音楽をBGMに、弁護士事務所を営む古田の一人語りから始まる。さて、どんな謎が展開するのか――。父が残した莫大な遺産の相続を巡り、双子の兄弟が争っている。解決してくれませんか。双子の屋敷で働くメイドが、古田を訪ねて来る。

次は古田が屋敷で兄と弟、弟の恋人から話を聞く場面。兄と弟は瓜つという設定で、演じる小川竜駆さん（日理1年）が一人二役を演じた。見所の一つが、古田が2人同時に話を聞こうとしてできず、2人を交互

に呼び出す場面。呼び出す速さが徐々に増していく、それに合わせて小川さんが息を切らせながら舞台袖で早着替えをし、舞台上に現れる。ドタバタ感と緊張感のある面白さが観客の笑いを誘った。「稽古では笑いを取れなかったが、本番では成功してよかった」と小川竜駆さん。翌日、兄が階段の下で遺体となって見つかる。駆けつけた警察官とともに、古田は事件当時、屋敷にいた人に聞き込みをする。そして、古田が推理を始めると、これまで



終幕後の出演者たち（7月27日、5C棟で）＝北川瑠菜撮影

ことが、メイドの証言で明らかになる。遺産目当てで弟と交際していた恋人は、双子の父とも交際していた。そのことが弟に知られ、もみ合いになった時に、弟が階段から転落したのだ。恋人はそれまでのしとやかな様子とは一変し、悪びれる様子もなく、犯行について語る。恋人を演じた小口桃佳さん（日理1年）は「おとなしさと悪女のような様子のギャップを出すことにこだわった」と話す。古田と警察官らが、事件解決後の動向について話す中で、事件解決にあたったのは古田の弟の探偵であり、古田もまた双

子「だったと判明。警察官の助手が「双子なんてごりごりだ」と叫んで幕となる。新人公演は例年、上級生も演者となるが、今回は初めて全員が1年生となった。常井さんは「頼もしい1年生が入った。劇団全体の人数も増えたので、もっと大規模な公演に挑戦したい」と今後を見据えていた。（北川瑠菜Ⅱ比較文化学類1年、中村瑞歩Ⅱ日本語・日本文化学類3年）

「芸術の森」では筑波大学の文化系サークルのイベントの模様を本紙記者が取材し、演者・作者の声をお伝えします。



舞台上立つ田中准教授Ⅱ本人提供

俳句 筑波大

・手花火を見せあふことも四姉妹
・行く夏の日だまりにして梅酒瓶
・波は秋足どり揃ふことふいに



家を出ていった父の葬儀をきっかけに、香田幸、佳乃、千佳の三姉妹は、腹違いの妹すずに出会い、4人は姉妹として鎌倉での四季鮮やかな暮らしをはじめ。暮らして、という生者の営みを描くこの作品だが、時に死の匂いが立ち込める。しかし、死んだ人もまた暮らしに息づいていることをこの作品は描く。四姉妹が、祖母と同じく梅酒を造るように。（吉川創揮Ⅱ比較文化学類3年）



『海街diary』
著者：アノ・スコルディング
発売元：ポニーキャニオン
価格：DVDスペシャル・エディション 6,000円（本体・送料別）
Blu-rayスペシャル・エディション 7,000円（本体・送料別）
（C）2019年放送・小学館／シネマ・小学館 東宝キヤパ

『寄席芸人伝』

古谷三敏 作

れており、落語に疎い人でも楽しめる作品となっています。例えば、第2巻の冒頭のエピソード、「空クモ平助」は「屁糞、小便」といった「汚い話ばかり好んでやる。「本当の芸じゃない」と眉をしかめる者もいるが、どんな時も、相手が誰であっても変わらずに「屁」の話をやる。そんな平助が河原で「人つぶやく」「笑い」てのは、煎じつめれば優越感じゃねえでしょうか。弱み認めないのを笑う、貧乏人、愚か者、不器用……。そんな中でも、最もめじめなのが、屁や糞じゃねえでしょうか。極貧の中で育ったあたしは、さげすまれるものの気持ちがあくくわかんんです。えらぶった客を相手にすると、ことに汚ねえ話をしたくなっちゃって……。また、別の日の平助と弟

皆さんも、小中学校時代に道德の授業で読み物資料を通して道德的諸価値なるものについて考えたという経験はあるかと思えますが、昨今の道德教育改革の動きの中で、これからの道德教育の在り方として「物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」がより強く求められるようになってきました。少し古い作品になりますが、本書は明治、大正、昭和と変わっていく時代のなかで芸に生きた落語家やその周辺人たちの人生をオムニバス形式で描いた一話完結型のエピソード漫画です。勧善懲悪、白黒二元論ではない豊かな世界観で、色とりどりの人間模様が描か

田中マリア 准教授（教育学）



人間系・准教授。筑波大学人間総合科学研究科博士課程修了。博士（教育学）。八洲学園大学講師、人間系助教を経て、2016年から現職。狂言歴は20年以上。

関東学生優勝大会 代表者戦制し2年ぶり優勝

星子 圧巻の逆ドウ



果敢に攻める星子(右) (9月15日、中央大戦で) = 国井俊介撮影

【川崎市・さくらアリーナ(川崎市中原区)で西村大祐Ⅱ(文学部2年、国井俊介Ⅱ(社会学部2年) 関東学生優勝大会が9月15日に行われた。筑波大は決勝で中央大と対戦。代表者戦の未勝利し、優勝を果たした。同大会での優勝は2017年以来2年ぶり。

剣道

筑波大は準決勝までの4戦を順調に勝ち上がり、準決勝では昨年の優勝校・明治大と対戦。三将戦で佐藤祐太(体専4年)がメンを決めるなど勝利を重ね、21で決勝に駒を進めた。

決勝では昨年3位の中央大と対戦。先鋒戦では重黒木祐介(同1年)が一瞬の隙を狙い、コテを先取。その後積極的な攻めを展開し、コテを決め、二本勝ちした。だが、次鋒戦では橋本将輝(同3年)が序盤にコテを取られた後、手元が空いた隙にコテを決められ、二本負けを喫した。五将戦、中堅戦、三将戦、副将戦では引き分けが続き、勝者数と総取得本数が同数の中、大将戦では星子啓太(同3年)と本間渉(中央大)が対戦。激しいせめぎ合いが繰り返されたが、互いに

決定打を欠き引き分け。勝負は一本勝負の代表者戦に持ち込まれた。代表者戦では再び星子と本間が対戦。両者一歩も譲らぬ戦いを繰り広げたが、本間が星子の攻めを避けるために竹刀を上げた瞬間に星子が逆ドウを決め、筑波大の優勝が決まった。

香田郡秀部長(体育系・教授)は「準決勝までは普段の実力を発揮でき、危なげなく勝ち上がることができた。決勝戦では苦戦を強いられ、星子が最後に一本決めてくれた」と勝因を分析した。

代表者戦で勝利した星子は「大会を通して大將まで勝利が決定していたことが多く、チームに感謝している。(決勝の)代表者戦では機会をうかがっていた逆ドウで、一本を取れてうれし」と語った。



走りとキックでチームに貢献する島田 (9月15日、早稲田大戦で)

早稲田大に大敗

ラグビー

【ケーズデンキスタジアム水戸(茨城県水戸市)で明石尚之Ⅱ(体育専門学群4年、写真も。12面に関連写真) 8大学で争う関東大学

対抗戦が8月31日から行われている。上位4位までが全国大学選手権に進む対抗戦で、昨年5位の筑波大は1勝2敗で5位(9月15日現在)につけている。

開幕戦では昨年日本一の明治大に33-59で敗れたものの一時はリードするなど善戦した。続く第2戦、慶應義塾大戦ではロスタイムに逆転サヨナラトライを決め、17-14で劇的勝利を収めた。このまま勢いに乗りたい筑波大は、9月15日に早稲田大と対戦。序盤は筑波大が主導権を握り善戦するも、自分たちのミスから失点を重ね、8-52で大敗した。

前半6分、相手のラインアウトから一気に崩され先制トライを許すも、直後に相手の反則から筑波大はペナルティゴールを選択。島田悠平(体専4年)が約40メートル及びキックを沈め、3-7とした。その後、効果的にキックを使うなど筑波大のペースで試合が進むも、決定的な場面を生かす切れずトライを取ることができなかった。一方で、早稲田大に確実にトラ

獨創性を表現 世界体操祭

体操

第16回世界体操祭が7月7-13日にオーストラリア・ドーンビルで開催され、筑波大学体操部の部員と教職員計16人が出場した。同祭は4年に1度、体操の表現の多様性を伝えることもに選手の間際交流を図ることを目的に行われており、10で勝利を収めた。

秋山央監督(体育系・助教)は「調子を崩してからの良い流れが続く、トからの良い流れが続く、序盤からブロックなどで5連続得点を獲得した。そのままりドを守り切り、15できず、22-25でセットを奪われた。

第3セットでも筑波大はスパイクまで上手く繋ぐことができないなど苦しい展開が続く。終始相手のリズムで試合が進み、16-25で続けてセットを奪われた。第4セットでは、筑波大は小澤や坂下純也(同3年)らによる多彩な攻撃や高さのあるブロックが決まり出し、調子を取り戻した。中盤、小澤のジャンプサーブで相手のレシーブを崩し、ブロックで仕留めると完璧に試合をものにし、25-17でセットを奪取。

最終セットでは、前セットからの良い流れが続く、序盤からブロックなどで5連続得点を獲得した。そのままりドを守り切り、15できず、22-25でセットを奪われた。

第3セットでも筑波大はスパイクまで上手く繋ぐことができないなど苦しい展開が続く。終始相手のリズムで試合が進み、16-25で続けてセットを奪われた。第4セットでは、筑波大は小澤や坂下純也(同3年)らによる多彩な攻撃や高さのあるブロックが決まり出し、調子を取り戻した。中盤、小澤のジャンプサーブで相手のレシーブを崩し、ブロックで仕留めると完璧に試合をものにし、25-17でセットを奪取。

最終セットでは、前セットからの良い流れが続く、序盤からブロックなどで5連続得点を獲得した。そのままりドを守り切り、15できず、22-25でセットを奪われた。

第3セットでも筑波大はスパイクまで上手く繋ぐことができないなど苦しい展開が続く。終始相手のリズムで試合が進み、16-25で続けてセットを奪われた。第4セットでは、筑波大は小澤や坂下純也(同3年)らによる多彩な攻撃や高さのあるブロックが決まり出し、調子を取り戻した。中盤、小澤のジャンプサーブで相手のレシーブを崩し、ブロックで仕留めると完璧に試合をものにし、25-17でセットを奪取。

最終セットでは、前セットからの良い流れが続く、序盤からブロックなどで5連続得点を獲得した。そのままりドを守り切り、15できず、22-25でセットを奪われた。

第3セットでも筑波大はスパイクまで上手く繋ぐことができないなど苦しい展開が続く。終始相手のリズムで試合が進み、16-25で続けてセットを奪われた。第4セットでは、筑波大は小澤や坂下純也(同3年)らによる多彩な攻撃や高さのあるブロックが決まり出し、調子を取り戻した。中盤、小澤のジャンプサーブで相手のレシーブを崩し、ブロックで仕留めると完璧に試合をものにし、25-17でセットを奪取。

最終セットでは、前セットからの良い流れが続く、序盤からブロックなどで5連続得点を獲得した。そのままりドを守り切り、15できず、22-25でセットを奪われた。

第3セットでも筑波大はスパイクまで上手く繋ぐことができないなど苦しい展開が続く。終始相手のリズムで試合が進み、16-25で続けてセットを奪われた。第4セットでは、筑波大は小澤や坂下純也(同3年)らによる多彩な攻撃や高さのあるブロックが決まり出し、調子を取り戻した。中盤、小澤のジャンプサーブで相手のレシーブを崩し、ブロックで仕留めると完璧に試合をものにし、25-17でセットを奪取。

最終セットでは、前セットからの良い流れが続く、序盤からブロックなどで5連続得点を獲得した。そのままりドを守り切り、15できず、22-25でセットを奪われた。

第3セットでも筑波大はスパイクまで上手く繋ぐことができないなど苦しい展開が続く。終始相手のリズムで試合が進み、16-25で続けてセットを奪われた。第4セットでは、筑波大は小澤や坂下純也(同3年)らによる多彩な攻撃や高さのあるブロックが決まり出し、調子を取り戻した。中盤、小澤のジャンプサーブで相手のレシーブを崩し、ブロックで仕留めると完璧に試合をものにし、25-17でセットを奪取。

最終セットでは、前セットからの良い流れが続く、序盤からブロックなどで5連続得点を獲得した。そのままりドを守り切り、15できず、22-25でセットを奪われた。

「知」を追い続ける姿を表現 2年連続の文部科学大臣賞



文部科学大臣賞を受賞し笑顔を見せるダンス部 = 同部提供

ダンス

全国の高校生・大学生を対象にした創作ダンス競技会の全日本高校・大学ダンスフェスティバルが8月6-9日に神戸文化ホール(神戸市中央区)で開催された。筑波大学ダンス部は27人による作品「遣唐使」を以て知を求める「を」を発表し、文部科学大臣賞を受賞した。同賞の受賞は2年連続14回目。

作品のテーマは情報が氾濫する現代社会。自分自身で「知」を求める人間の姿を表現し、作品は幕を下ろす。

主将の木下ひなた(体専3年)は「部員たちが納得いく作品に仕上がらず、発表ギリギリまで構成を考え直した。(受賞発表時は)練習が辛かった分言葉が出ないほどの達成感でいっぱいだったと話した。(加藤優花)

ブロックで流れつかむ 熱戦の末 駒澤大に勝利

バレー

【駒沢オリンピック公園総合運動場体育館(東京都世田谷区)で池田花於里Ⅱ(物理学部4年、12面に関連写真) 12大学が争う関



スパイクを打ち込む 坂下 (9月7日、駒澤大戦で) = 池田花於里撮影

東大秋季リーグが9月7日から開催されている。7日に行われた開幕戦の駒澤大戦では、フルセットの熱戦の末3-2で制した。筑波大は4勝2敗で4位につけている(9月22日現在。第1セット、筑波大は序盤に小澤由輝(体専4年)や高橋瑞歩(同3年)らが

ブロックを決め、5連続得点を奪った。そのまま流れをつかみ、25-21でセットを先取した。

第2セットでは、序盤は拮抗したが、相手の強烈なジャンプサーブに崩され、大量得点を許す。その後もレシーブミスなどが続き、相手の勢いを止めることが

できず、22-25でセットを奪われた。

第3セットでも筑波大はスパイクまで上手く繋ぐことができないなど苦しい展開が続く。終始相手のリズムで試合が進み、16-25で続けてセットを奪われた。第4セットでは、筑波大は小澤や坂下純也(同3年)らによる多彩な攻撃や高さのあるブロックが決まり出し、調子を取り戻した。中盤、小澤のジャンプサーブで相手のレシーブを崩し、ブロックで仕留めると完璧に試合をものにし、25-17でセットを奪取。

全面禁煙化3カ月 学内に吸い殻散らかる

大学周辺の路上で紫煙絶えず 「イメージ悪化にも」



筑波大学は7月1日、学内を全面禁煙とした。公共施設の敷地内での喫煙を原則禁止するなど受動喫煙対策を強化した改正健康増進法の一部施行を受けた措置で、大学非公認のいわゆる「隠れ喫煙所」を含めた学内全ての喫煙所が撤去された。同法に対応した特定屋外喫煙所[■]の設置については、9月現在も未定としている。喫煙者からは不満の声が上がる一方、いまだに学内での喫煙や吸い殻のポイ捨てが横行する現状を報告する。

「昼休みになると職員などが集まり歩道で喫煙している。車道からも見えるのでイメージの悪化にもつながるのではないか」と話した。

消費増税に 消費増税に

留学生の声 台湾

歴史を学び 自分のルーツ探る

中国人だとする考えがある。祖父や母が国民党員だったこともあり、幼少期から「あなたは中国人だ」と言われて育った。自分自身もそう考えて

「自分は一体何人なのだろうか。自問自答を重ねた。答えを探るために手にとったのは、中華民国の歴史本。『歴史を学ぶ』と

「人文社会科学を勉強する人は、専門分野に特化するのではなく、周辺の知識も学ばないといけない」と話す。

「学類だけでは、勉強がとて足りない」とい、筑波大学院への進学を志す。自宅の本棚はあふれかえり、今まで読んだ本は600冊を軽く超える。「寝る時間を削って本を読むから、いつも寝不足。自由に学び続けたい。知識への渴望は途切れることを知らない。(大和祐菜 2 障害科学類1年、写真も)



学内のバケツに捨てられた吸い殻(9月20日、体育・芸術エリアで) = 西村大祐撮影

禁煙化後も続く喫煙

文化系サークル会館(文サ館)の1階、松美池に面したベランダには6月まで灰皿が置かれ、大学が公式に設置した喫煙所ではない「隠れ喫煙所」となっていた。全面禁煙化後は灰皿が撤去された。

しかし、学生生活課には、禁煙化後も同所で喫煙する学生がいるとの情報提供が警備員や学生から寄せられた。同課職員も、現場で喫煙している学生を7月に確認した。ベランダにあるテーブルには何者かが持ち込んだとみられる金属製の灰皿が置かれていたという。同課は学生を注意し、灰皿2点を一時保管した。

同課は、全面禁煙後も喫煙者が続出していることから、文サ館を利用するサークルに7月24日付けのメールで敷地内禁煙を周知するよう改めて要請していた。

同課担当者は「これから敷地内禁煙の実現のために周知活動が続けてい

路上喫煙の実態

全面禁煙化で、多くの教職員や学生の喫煙者は、飲食店や学外の歩道などで喫煙している。本部棟に近い東大通りの歩道では、昼休み時間帯に喫煙する筑波大職員の姿が目につく。携帯灰皿を使って喫煙していた男性は「全面禁煙化は仕方ないと思うが、喫煙者への対応ももう少し考えてほしい。灰皿を用意したり人目を気にしたりしながら喫煙しているが、肩身が狭い」とため息をつく。また、同通路では、タバコのポイ捨てで喫煙していた男性は

横行するポイ捨て

全面禁煙化以前、筑波大が公式に設置した喫煙所があった人文社会学系棟1階通路では、タバコのポイ捨てで喫煙していた男性は



東大通りで携帯灰皿を使って喫煙する女性(9月27日、つくば市天王台で) = 西村大祐撮影

「特定屋外喫煙所」設置は未定

改正健康増進法の一部施行にあたっては、各大学の対応が分かれている。学校や病院、児童福祉施設、官公庁などは同法の「第一種施設」。管理者には罰則付きで、敷地内を原則禁煙とする義務が課せられる。ただ、通常は人が立ち入らない場所であるなどの条件を満たせば、特定屋外喫煙所を設置できる。

筑波大のほか、佐賀大学(佐賀市)などは、全ての喫煙所を撤去、敷地内を全面禁煙とした。

一方、上智大学(東京都千代田区)や青山学院大学(同渋谷区)などは、同法に基づき、一部の屋外喫煙所を特定屋外喫煙所として残した。「ポイ捨てや路上喫煙が多発し、近隣住民に迷惑がかかる」「完全禁煙にすると、隠れて喫煙する人が出てきてしまう」などの理由からだ。

今後の大学の方針に関する本紙の取材に、リスク・安全管理課は「法律の定める通りメールで回答し、特定屋外喫煙所の設置については未定としている。」

特定屋外喫煙所 改正健康増進法に対応した屋外喫煙所。設置には▽非喫煙場所との明確な区別▽喫煙場所であることを示す標識の掲示▽喫煙以外の目的で立ち入らない場所に設けるなどの対策が必要。

特攻隊の「故郷」から研究

伊藤教授出版 美化問い直す

日本近代史が専門の伊藤純郎教授(人文学部)が「特攻隊の故郷」霞ヶ浦・筑波山・北浦・鹿島灘(吉川弘文館)に写真を出版した。茨城県内で訓練に励み、後に特攻隊員として海に散った予科練生などの若者たち。残された手記や日記、手紙などを読み解き、訓練地での日々の生活から彼ら

「特攻隊の故郷」を美化するのではなく、彼らの内面を描く。特攻隊入隊の意思表示は、紙片に「熱望」「望」「否」のいずれかを書いて提出する。筑波海軍航空隊地での日々の生活から彼ら



「特攻隊の故郷」を美化するのではなく、彼らの内面を描く。特攻隊入隊の意思表示は、紙片に「熱望」「望」「否」のいずれかを書いて提出する。筑波海軍航空隊地での日々の生活から彼ら

道迷う高齢者の女性保護

筑波大生に感謝状

ば市春日の路上で、80代女性が道に迷った。女性が見つけて声を掛けた。女性が現場から離れようとしたため、浅野さんが引き留めている間に西村さんが近くの交番に連絡、女性は警察に引き渡され、無事帰宅した。感謝状を受け取り、浅野さんは「声をかけないと後

道に迷った認知症の高齢者を保護したとして、つくば中央署は9月18日、浅野優次郎さん(体専3年)と西村生さん(同3年)に感謝状を贈った。

浅野さんと西村さんは8月18日午後10時ごろ、つく

短期雇用の時給20円増

筑波大生に感謝状

筑波大学は10月1日から、筑波キャンパスなど茨城県内での短期雇用の時給を830円から850円に引き上げた。同日より、県内の最低賃金が前年度比

筑波大学の短期雇用の時給は、昨年10月、県の最低賃金が822円に引き上げられたことを受け、830円に改定していた。(遠子内早紀 2 教育学類2年)

筑波大学の短期雇用の時給は、昨年10月、県の最低賃金が822円に引き上げられたことを受け、830円に改定していた。(遠子内早紀 2 教育学類2年)

プラごみ分別収集進まず

つくば市 回収量は目標の半分

つくば市は4月1日から、新たにプラスチック製容器包装(プラごみ)の分別収集を始めた。月72・5ト、年間870トの収集を目標としているが、4～8月は平均で月約40トにとどまった。分別が始まったことを知らなかったり、知っていても分別しなかったりする市民がいるとみられる。市では、広報紙や動画投稿サイト「ユーチューブ」で分別方法を紹介するなど、周知を徹底するという。また、市民からの要望が高い収集日の増加は現時点では未定としている。(木村誠 國井俊介)

プラごみの分別収集は家庭から出るごみが対象で、収集は月2回。市はこれまで、プラごみは「燃やせるごみ」として回収してきたが、分別収集でリサイクルし、燃やせるごみを減量したいと考えた。



市のリサイクルセンター(1月24日、つくば市水戸市守で) = 木村誠撮影

回収量は燃やせるごみの量が減ったため、現行より小さいサイザルの燃やせるごみ専用袋の販売を望む声も多かった。同市は、回収を月2回から4回に増やすには年5千万円が必要となる。市担当者は「費用対効果などを考慮し、検討している」と話す。

アンケートでは、プラごみの分別収集が燃やせるごみの量に減ったため、現行より小さいサイザルの燃やせるごみ専用袋の販売を望む声も多かった。同市は、回収を月2回から4回に増やすには年5千万円が必要となる。市担当者は「費用対効果などを考慮し、検討している」と話す。

リサイクルなどを間違えて捨てるなど、分別方法の理解も進んでいない。分別の判断に困る市民からの問い合わせもあるという。市が7月に実施した市民アンケートでは、月2回の回収ではごみがたまってしまったため、収集日の増加を求める声も多く上がっている。プラごみは卵のバックや食品トレイなど容積の大きいものが多いからだ。

ただ、市によると、回収回数を月2回から4回に増やすには年5千万円が必要となる。市担当者は「費用対効果などを考慮し、検討している」と話す。

性的少数者の理解訴える 筑波大教員らが議論



イベントで話す河野助教 = ソニー提供

大学における性的少数者の居場所づくりについて考えるイベント「ダイバーシティーク with UDA」が9月12日、ソニー本社(東京都港区)で開催され、550人が参加した。ソニーと大学ダイバーシティ・アライアンス(UDA)の共催。イベントでは国文学研究資料館長のロバート・キャンベル東大名誉教授による講演やパネルディスカッションが行われた。山口大学(山口市)など全国5カ所ではライブ配信もされた。

第1部では、大学における性的少数者の居場所づくりについて考えるイベント「ダイバーシティーク with UDA」が9月12日、ソニー本社(東京都港区)で開催され、550人が参加した。ソニーと大学ダイバーシティ・アライアンス(UDA)の共催。イベントでは国文学研究資料館長のロバート・キャンベル東大名誉教授による講演やパネルディスカッションが行われた。山口大学(山口市)など全国5カ所ではライブ配信もされた。



イベントで話す河野助教 = ソニー提供

第一部では、自身が同性愛者であり、パートナーの男性と来ニューヨーク州で結婚したことを昨年公表した注目を集めたキャンベル名誉教授が講演。9月に鹿兒島市議が性的少数者向けの政策について「ニーズがない」と発言したことを例に、日本では性的少数者が声を上げられず、結果として当事者が少ないという誤解が広がっている現状を訴えた。また、性的指向をためらいなく公言できる環境を構築する重要性を訴えた。

キャンベル名誉教授は「当事者にとって人生の一部である性的指向を社会的に隠すことは、さまざまな場面で本人のパフォーマンスを十分に発揮できなくさせる。それは結果として文化の活力を削がせることにつながる」と話した。

第二部では、大学における性的少数者の居場所づくりをテーマに、大学や企業関係者と性的少数者計6人によるパネルディスカッションを開催。筑波大からは河野碩之助教(人間系・DACセンター)と土井裕人助教(人社会学)が登場し、ソニー人事センター長の望月賢一氏も参加した。

河野助教は「大学が企業など連携することは、学生のキャリアを支援するうえで重要な。今回のイベントで、全国の大学関係者に学外とのつながりを築く必要性を伝えることができた」と語った。

性的少数者支援の情報共有 「UDA」発足

大学などで実施されている性的少数者への取り組みの共有を目指す「大学ダイバーシティ・アライアンス(UDA)」が6月に発足した。各大学の性的少数者への支援内容や体制などをデータベース化し、これに基づき大学関係者などが参加する勉強会やコンサルティングを行うことを目指す。データベースは高校や企業関係者などにも活用してもらうことを想定している。

発起人代表は筑波大学DACセンター長の五十嵐浩也教授(芸術系)。土井裕人助教(人社会学)は「これまで性的少数者への支援は全国の大学で別々に行われてきた。UDAでは、それらの情報を一つにまとめ、誰もが利用できるようにしたい」と話した。(後藤佳代)

こども記者クラブ開催

トライアスロン・スイス代表に取材



選手の写真を撮る参加者(8月11日、陸上競技場で) = 木村誠撮影

くばこども記者クラブ」が8月9日と11日、筑波大学で開かれた。同市が主催し、本紙と筑波大、茨城県が協力した。代表チームは、お台場海浜公園(東京都港区)で開かれた国際大会に出場するため、7月29日から8月13日まで筑波大で事前合宿をしていた。

イベントでは、取材の方法やカメラの使い方を学んだ。その後、筑波大陸上競技場や屋内プールでの練習などを取材し、一眼レフカメラで写真も撮影した。

スイス選手へのインタビューでは、並木中等教育学校(同市並木)の生徒らが選手とこども記者の通訳となり、トライアスロンの方法やカメラの使い方などを学んだ。その後、筑波大陸上競技場や屋内プールでの練習などを取材し、一眼レフカメラで写真も撮影した。



ツクマガを手に誌面デザインを話し合うメンバー(8月26日、つくば市春日で)

筑波大学内各所のフリーペーパーコーナーで、異彩を放つ一冊がある。表紙には明治のチャコレート菓子「アポロ」が空飛ぶ写真と「宇宙へ行こう」の文字。個性的かつ洗練されたデザインがこの冊子は、学生団体C4が発行している「ツクマガ」の最新号だ。

2003年に結成「筑波大生のための発見マガジン」と銘打ち、現在では3000部を年2回発行している。「学生目線」のメディアとして、読者に新たな発見をもたらすことがら」と定義し、筑波大生に自分にとっての「宇宙」を取材。「旅」「ラグビー」「植物」……毎号、1人のアートのディレクターが全体の雰

学生団体 C4

「ツクマガ」魅力的な企画とデザイン

3000部を年2回発行している「学生目線」のメディアとして、読者に新たな発見をもたらすことがら」と定義し、筑波大生に自分にとっての「宇宙」を取材。「旅」「ラグビー」「植物」……毎号、1人のアートのディレクターが全体の雰囲気を統一感ある一冊に仕上った。

魅力や東京五輪の目標などを英語で質問していた。取材後は記事執筆、写真を組み合わせたり、見出しをつけたりして、思い思いの新聞を完成させた。参加した女子児童は「海

外の人に取材するのは緊張したが、選手の熱い思いに引き込まれた」と話した。完成した新聞はつくば市のウェブサイトに掲載される予定。(中村瑞歩、12面に関連写真)

3日間、午前10時から午後7時に設けられ、市民なら誰でも利用できた。

つくば市では、ほかに期日前投票所が10カ所、7月5日～20日に設けられ、市全体の期日前投票者数は2万9889人だった。

同投票所は筑波大生の要望で、2016年7月の参院選から設けられた。市選管によると、今後の設置は未定という。(牧田宗太)

ツクマガでのデザイン活動について、メンバーは口をそろえて「勉強になる」と言う。「ほかのメンバーが作った思いがけないデザインに出会える」と代表の平石あすかさん(同2年)は語る。

11月1日に発行する第18号のテーマは「トビラ」。「読者一人一人に、自分の意思で選んだ扉を開けてほしい」(平石さん)という思いがある。このテーマに沿い、自ら扉を開き前へ進んでいる人へのインタビューなどを掲載する予定だ。

「多くの人に『良かった』と言ってもらえる一冊を作りたい」(平石さん)。「学生目線」を源泉に、16年続くフリーペーパー。斬新な企画とデザインを強みに、これから筑波大生に「新たな発見」をもたらしていく。(池田花於里比較文化学類3年、写真も)

Who's Who?

蹴球部データ班でアナリストとして活躍

スコット・アトムさん（情科4年）



グラウンドで分析を行うスコットさん＝本人提供

蹴球部のデータ班に所属し、アナリストとしてチームの勝利に貢献している。

試合の様子を撮影し、どの選手がシュートやパスをしたかを記録する。それを試合中のGPS（全地球測位システム）データと紐付け、チームの戦い方を分析。各選手に試合内容や修正

が必要なる点をフィードバックするのが主な役割だ。

昨年度までは選手としても活動していたが、今年度からデータ班に専念した。ベンチャー企業が開発したソフトウェアを導入するなど、より高度な分析を目指している。「作業量が多いことはなるべく自動化したい」

英国出身。幼い頃からサッカーが身近な環境に育った。来日後は地域のサッカーチームに所属し、フォワードとしてプレーした。

高校1年時に学校の課題で行った自主研究で、サッカーのトレーニングや戦術をまとめた約120ページの制作した。2年時には、自主研究の担当教員にハイスピードカメラを借り、自分のキックを撮影。その動きを分析するため、ソフトウェアのプログラミングを始めた。

「ハイスピードカメラの映像を手作業でコマ送りしながら分析するのは手間がかかるので、先生の教を受けながら、キックを分析するプログラムを組んだ。精度はまだだったが、科学的にサッカーを分析するスタートラインに立てたと実感し

「データと人の間つなぐ」
スポーツに科学的な議論を

た」と振り返る。

研究成果をまとめた資料は、筑波大のACC入試を通過する武器にもなった。

この頃から、日本スポーツアナリスト協会が主催するアナリストの会合などにも参加し始めた。昨年11月には、同協会主催の大学生向けデータ分析コンテスト「Analytics Challenge Cup」に参加。リーグクラブ「横浜F・マリノス」の観客増加策を提言する課題に、他大学生とチームを組み臨んだ。ファンの属性調査や試合運営者への取材などを基に具体案をまとめ、リーグやチーム関係者、データ分析の有識者にプレゼンし、優秀賞を獲得した。

現在関心を寄せているのは、深層学習による分析だ。まず、映像に記録された選手のシュートやパス、得点の有無などを人工知能に教え込む。これを繰り返して、効果的な戦術を浮かび上がらせる。「これからは（深層

学習などの技術を使って）得られたデータをどう取捨選択し、戦術に使うかに重点が置かれると思う」

将来はリーグクラブに所属し、分析を仕事にしていきたいと語る。「今のようにチームの勝利のためにデータを分析するばかりでなく、リーグ全体のデータを扱うなどしてサッカー全体の質の向上につなげたい」

他競技のアナリストとも知り合い、さまざまな競技の分析にも関心を持つようになった。「高校野球の投球制限の問題も、球数と健康状態の相関を見れば球数をどこで抑えるべきかは明らかなのに、日本では根拠論がまかり通り、科学的データを議論の材料にする環境が整っていない」と言う。

「データと人の間をつなぐツールを提供し、多くの人にスポーツを科学的に議論してほしい。掲げる目標は大きい。」

（田所涼二教育学類2年）

編集後記

京都アニメーションで放火事件が起きてから2カ月余り。絵を描く人、彩色する人、制作スケジュールを組む人……。多くの人が作品を紡いでいた、まさにその時に悲劇は起きたといえます。被害者にはこの先作りたいものがあつたはず。それを奪われたことも無念の一つではないかと思ひます。▼今号の編集の合間に京アニの新作映画「ヴァイオレット・エヴァーガーデン」外伝「永遠と自動手記人形」を鑑賞した。戦争で両腕を失った少女が手紙の代筆を通して人の心に触

次号は

11月1日（金）

発行予定です

編集・発行

■筑波大学新聞編集委員会
▽委員長 土井隆義（人文社会学部・教授）
▽副委員長 佐藤勲（学生部長）
▽委員 賀谷純子（生命環境系・教授）
▽竹中佳彦（人文社会学部・教授）
▽政治学

■筑波大学新聞編集部
▽編集代表 鴨志田公男（筑波大学・教授）
▽サイエンスコミュニケーション
▽編集長 木村誠（人文学類3年）
▽副編集長 飯田健介（社会学類3年）
森賀遼太（同3年）
ほか編集部員20人

発行所 筑波大学

印刷 ヒラマ写真製版

関東学生秋季リーグ



スパイクを打つエースの小澤（9月7日、駒澤大戦で）＝池田花於里撮影

8面へ

関東大学対抗戦



ピッチの内外でチームを引っ張る杉山（9月15日、早稲田大戦で）＝明石尚之撮影

8面へ

つくば中央署から感謝状



道に迷った高齢女性を保護した浅野さん（左）と西村さん（9月18日、5C棟で）＝木村誠撮影

10面へ

こども記者クラブ



スイスのトライアスロン選手にインタビューする参加者（8月11日、筑波大学陸上競技場で）＝木村誠撮影

11面へ

スポーツ

スポーツ

学生生活

学生生活